

カテゴリ	NO.	前回問番号	設問内容	設問のねらい	選択肢	備考	前回調査 回答数
区域	1	問1	居住地区	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 東つつじヶ丘1～2丁目 西つつじヶ丘1～3丁目 仙川町全域 若葉町1丁目 緑ヶ丘全域 2. 東つつじヶ丘3丁目 入間町全域 若葉町2～3丁目 菊野台全域 西つつじヶ丘4丁目 3. 佐須町1～2丁目、4～5丁目 柴崎全域 深大寺東町3～4丁目 深大寺南町1～3丁目 調布ヶ丘3丁目 4. 深大寺北町全域 深大寺東町1～2丁目、5～8丁目 深大寺元町2～5丁目 深大寺南町4～5丁目 5. 布田2～3丁目 国領町1～5丁目、8丁目 佐須町3丁目 調布ヶ丘2丁目 八雲台全域 6. 国領町6～7丁目 染地全域 布田5～6丁目 多摩川6～7丁目 7. 小島町全域 布田1丁目、4丁目 調布ヶ丘1丁目、4丁目 深大寺元町1丁目 下石原1丁目 多摩川1～5丁目 8. 上石原全域 下石原2～3丁目 野水全域 西町全域 富士見町全域 飛田給全域	・ニーズを地区別に把握するための基本的情報として把握	529
本人・家族の状況	2	問3	性別	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 男性 2. 女性 3. その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）	・国調査（F1） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	550
	3	問2	年齢	・分析にあたって必要となる基本情報等	（24歳以下，25歳～29歳，30歳～34歳，35歳～39歳）（令和5年 月 日時点）	・国調査（F2） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	548
	4	問6	婚姻状況	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 未婚 2. 配偶者あり 3. 配偶者と死別 4. 配偶者と離別（離婚）	・国調査（F3） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	485
	5	問4 問5 問7	同居者 （いくつでも）	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 父 2. 母 3. きょうだい 4. 祖父母 5. あなたの配偶者 6. あなたの子 7. その他親族 8. その他（ホームステイをしている人など）（具体的に： ） 9. 同居している人はいない（単身世帯）	・国調査（F4） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	
	6		生計を支えているのは誰か （1つだけ）	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. あなた自身 2. 父 3. 母 4. あなたの配偶者 5. きょうだい 6. あなたの子 7. その他（具体的に： ） 8. わからない，答えられない	・国調査（F5） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	
	7		生計を支えている方の主な収入源 （1つだけ）	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 就労，事業による収入（農業収入を含む） 2. 預金やその利息，財産からの収入（株の配当や不動産賃料など） 3. 年金 4. 生活保護 5. その他（具体的に： ） 6. わからない，答えられない	・国調査（F5） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	
	8	問8	最終学歴（中退含む・在学中の方は現在在学している学校）	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 中学校 2. 高等学校 3. 専修学校・専門学校 4. 高等専門学校・短期大学 5. 大学・大学院 6. その他（具体的に： ）	・国調査（F7） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	548
	9		現在の仕事	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 学生・生徒（予備校生などを含む） 2. パート・アルバイト 3. 派遣社員 4. 契約社員・嘱託 5. 正規の社員・職員・従業員 6. 会社などの役員 7. 自営業・自由業 8. 家族従業者・内職 9. 専業主婦・主夫 10. 家事手伝い 11. 無職（仕事を探している） 12. 無職（仕事を探していない） 13. その他（具体的に： ）	・国調査（F8） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	
	10		就業経験（パート・アルバイト含む）	・分析にあたって必要となる基本情報等	1. 現在，就業している 2. 現在，就業しているが，休職や休業中である 3. 現在は就業していないが，過去に就業経験がある 4. これまでに就業経験はない	・国調査（F9） ・分析にあたって必要となる基本的情報として把握	

カテゴリ	NO.	前回問番号	設問内容	設問のねらい	選択肢	備考	前回調査 回答数
人とのつながり	11	問14～ 問18	居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）と考えるか： ①自分の部屋	・居場所、人とのつながりの実態把握	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. あてはまるものはない、わからない	・国調査（問3） ・若者の主な生活拠点となる各居場所についての意識を把握し、今後の計画策定や施策実施の参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	12	-	居場所と考えるか：②家庭（親せきの家を含む）	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. あてはまるものはない、わからない	-	
	13	-	居場所と考えるか：③学校	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. あてはまるものはない、わからない	-	
	14	-	居場所と考えるか：④職場（過去の職場を含む）	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. あてはまるものはない、わからない	-	
	15	-	居場所と考えるか：⑤地域（図書館、公民館、公園、子ども食堂など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. あてはまるものはない、わからない	-	
	16	-	居場所と考えるか：⑥インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない 5. あてはまるものはない、わからない	-	
	17	問19	孤独であると感じることがあるか	・居場所、人とのつながりの実態把握	1. 決してない 2. ほとんどない 3. たまにある 4. 時々ある 5. しばしばある・常にある	・国調査（問4-2） ・人とのつながりや孤独感に対する意識を把握し、今後の施策実施の参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
他者との かかわり	18	問19	家族・親せきとのかかわり：①会話やメール等をよくしている	・他者とのかかわりの実態把握	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	・国調査（問5） ・他者とのかかわりに関する意識を把握し、今後の施策の効果的なアプローチを検討する際に参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	19	-	家族・親せきとのかかわり：②何でも悩みを相談できる人がいる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	20	-	家族・親せきとのかかわり：③困ったときは助けてくれる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	21	-	家族・親せきとのかかわり：④他の人には言えない本音を話せることがある	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	22	問19	学校で出会った友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）とのかかわり：①会話やメール等をよくしている	・他者とのかかわりの実態把握	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	・国調査（問6） ・他者とのかかわりに関する意識を把握し、今後の施策の効果的なアプローチを検討する際に参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	23	-	学校で出会った友人とのかかわり：②何でも悩みを相談できる人がいる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	24	-	学校で出会った友人とのかかわり：③困ったときは助けてくれる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	25	-	学校で出会った友人とのかかわり：④他の人には言えない本音を話せることがある	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	26	問19	職場・アルバイト関係の人（現在及び過去の職場の同僚・上司・部下、その他仕事の関係で知り合った人など）とのかかわり：①会話やメール等をよくしている	・他者とのかかわりの実態把握	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	・国調査（問7） ※就業経験の設問で「現在就業中」「休職や休業中」「過去に就業経験がある」を選んだ方のみへの設問 ・他者とのかかわりに関する意識を把握し、今後の施策の効果的なアプローチを検討する際に参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	27	-	職場・アルバイト関係の人とのかかわり：②何でも悩みを相談できる人がいる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	28	-	職場・アルバイト関係の人とのかかわり：③困ったときは助けてくれる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	29	-	職場・アルバイト関係の人とのかかわり：④他の人には言えない本音を話せることがある	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	

カテゴリ	NO.	前回問番号	設問内容	設問のねらい	選択肢	備考	前回調査 回答数
	30	問19	地域の人（近所の人、町内会などの知人、消防団などの地域活動での知人、塾や習い事での知人、参加しているNPO法人など）とのかかわり：①会話やメール等をよくしている	・他者とのかかわりの実態把握	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	・国調査（問8） ・他者とのかかわりに関する意識を把握し、今後の施策の効果的なアプローチを検討する際に参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	31	-	地域の人とのかかわり：②何でも悩みを相談できる人がいる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	32	-	地域の人とのかかわり：③困ったときは助けてくれる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	33	-	地域の人とのかかわり：④他の人には言えない本音を話せることがある	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	34	問19	インターネット上における人やグループとのかかわり：①会話やメール等をよくしている	・他者とのかかわりの実態把握	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	・国調査（問9） ・他者とのかかわりに関する意識を把握し、今後の施策の効果的なアプローチを検討する際に参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	35	-	インターネット上における人やグループとのかかわり：②何でも悩みを相談できる人がいる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	36	-	インターネット上における人やグループとのかかわり：③困ったときは助けてくれる	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
	37	-	インターネット上における人やグループとのかかわり：④他の人には言えない本音を話せることがある	-	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	-	
将来像	38		あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか	・将来像についての実態把握	1. 希望がある 2. どちらかといえば希望がある 3. どちらかといえば希望がない 4. 希望がない	・国調査（問12） ・若者の前向きな意識の実態を把握し計画策定に向けた参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
普段の活動	39	問23	普段自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っているか（いくつでも）	・日常生活の実態把握	1. テレビを見る 2. ラジオを聴く 3. 本を読む 4. 新聞を読む 5. ゲームをする 6. 勉強をする 7. 仕事をする 8. 家事をする 9. 育児をする 10. 介護・看護をする 11. インターネットをする（スマートフォンやパソコンを利用したウェブ閲覧、SNS利用など） 12. 運動をする（身体を動かす） 13. あてはまるものはない	・国調査（問14） ・若者の生活実態を把握し計画策定に向けた参考とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	551
	40	問24-1	授業や仕事以外のインターネット（オンラインゲームを含む）の利用時間	・インターネットの利用状況把握（ネット依存の傾向把握）	1. 1時間以内 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間 5. 4～5時間 6. 5時間以上	・インターネットの利用状況と、ネット依存の傾向を把握する	539
	41	問25	ソーシャルメディア・通信手段などのうち、ふだん利用しているものは（いくつでも）	・インターネットの利用状況把握	1. 電話（アプリによる通話を含む） 2. メール（携帯電話・パソコンなど） 3. Facebook 4. X（旧Twitter） 5. Instagram 6. LINE 7. その他のSNS・チャットアプリ 8. ウェブサイト（電子掲示板・ウェブログを含む） 9. その他（ ）	・インターネットの利用状況を把握し、ネット依存の傾向を把握する ・今後の施策の効果的なアプローチを検討する際に参考とする	547

カテゴリ	NO.	前回問番号	設問内容	設問のねらい	選択肢	備考	前回調査 回答数
外出状況	42	問26	普段の外出状況 (ひとつだけ)	・日常生活の実態把握（ひきこもりの実態把握）	1. 仕事や学校で平日は毎日外出する 2. 仕事や学校で週に3～4日外出する 3. 遊び等で頻繁に外出する 4. 人づきあいのためにときどき外出する 5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する 6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける 7. 自室からは出るが、家からは出ない 8. 自室からほとんど出ない	・国調査（問15） ・普段の外出状況等からひきこもりの実態を把握し、効果的な対策を行うための検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	552
	43	問26-1	外出状況が現在の状態になってからの期間	・日常生活の実態把握（ひきこもりの実態把握）	1. 3か月未満 2. 3か月～6か月未満 3. 6か月～1年未満 4. 1年～2年未満 5. 2年～3年未満 6. 3年～5年未満 7. 5年～7年未満 8. 7年～10年未満 9. 10年～15年未満 10. 15年～20年未満 11. 20年～25年未満 12. 25年～30年未満 13. 30年以上	・国調査（問16） ※前設問で選択肢5～8を選んだ方のみへの設問 ・普段の外出状況等からひきこもりの実態を把握し、効果的な対策を行うための検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	20
	44	問26-2	外出状況が現在の状態になった年齢	・日常生活の実態把握（ひきこもりの実態把握）	1. 14歳以下 2. 15歳～19歳 3. 20歳～24歳 4. 25歳～29歳 5. 30歳～34歳 6. 35歳～39歳	・国調査（問17） ※設問NO.43で選択肢3～13を選んだ方のみへの設問 ・普段の外出状況等からひきこもりの実態を把握し、効果的な対策を行うための検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	45	問26-2	外出状況が現在の状況になった主な理由（いくつでも）	・日常生活の実態把握（ひきこもりの実態把握）	1. 学校になじめなかったこと 2. 小学生時代の不登校 3. 中学生時代の不登校 4. 高校生時代の不登校 5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校 6. 受験に失敗したこと（高校・大学等） 7. 就職活動がうまくいかなかったこと 8. 職場になじめなかったこと 9. 人間関係がうまくいかなかったこと 10. 病気（病名： ） 11. 妊娠したこと 12. 退職したこと 13. 介護・看護を担うことになったこと 14. 新型コロナウイルスが流行したこと 15. その他（具体的に： ） 16. 特に理由はない 17. わからない	・国調査（問18-1） ※設問NO.43で選択肢3～13を選んだ方のみへの設問 ・普段の外出状況等からひきこもりの実態を把握し、効果的な対策を行うための検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	46	問26-2	外出状況が現在の状況になった最も大きな理由（ひとつだけ）	・日常生活の実態把握（ひきこもりの実態把握）	1. 学校になじめなかったこと 2. 小学生時代の不登校 3. 中学生時代の不登校 4. 高校生時代の不登校 5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校 6. 受験に失敗したこと（高校・大学等） 7. 就職活動がうまくいかなかったこと 8. 職場になじめなかったこと 9. 人間関係がうまくいかなかったこと 10. 病気（病名： ） 11. 妊娠したこと 12. 退職したこと 13. 介護・看護を担うことになったこと 14. 新型コロナウイルスが流行したこと 15. その他（具体的に： ） 16. 特に理由はない 17. わからない	・国調査（問18-2） ※前設問で選択肢1～15を選んだ方のみへの設問 ・普段の外出状況等からひきこもりの実態を把握し、効果的な対策を行うための検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	47		最近6か月間に、家族以外の人と会話したか	・日常生活の実態把握（ひきこもりの実態把握）	1. よく会話した 2. ときどき会話した 3. ほとんど会話しなかった 4. まったく会話しなかった	・国調査（問19） ・普段の外出状況等からひきこもりの実態を把握し、効果的な対策を行うための検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	

カテゴリ	NO.	前回問番号	設問内容	設問のねらい	選択肢	備考	前回調査 回答数
困難に直 面した経 験	48		今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験があったか、または現在あるか	・日常生活の実態把握（困難に直面した経験の実態把握）	1. 今までに経験があった（または、現在ある） 2. どちらかといえば、あった（ある） 3. どちらかといえば、なかった（ない） 4. なかった（ない） 5. わからない、答えられない	・国調査（問20） ・困難事例やその改善事例の実態を把握し、今後の施策の検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	49		今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験	・日常生活の実態把握（困難に直面した経験の実態把握）	1. あった 2. どちらかといえば、あった 3. どちらかといえば、なかった 4. なかった 5. わからない	・国調査（問22） ※設問NO.48（社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験の有無）で選択肢1, 2を選んだ方のみへの設問 ・困難事例やその改善事例の実態を把握し、今後の施策の検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	50		状態が改善したきっかけや改善に役立ったこと（いくつでも）	・日常生活の実態把握（困難に直面した経験の実態把握）	1. 家族や親せきの助け 2. 友人の助け 3. 学校の先生に相談したこと 4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと 5. 地域の人の助け 6. 病院に行き相談したこと 7. 相談できる場所に行き相談したこと 8. 電話相談を利用したこと 9. SNSやメール相談などを利用したこと 10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと 11. 就職・転職したこと 12. 趣味の活動に参加したこと 13. 時間がたつて状況が変化したこと 14. 自分の努力で乗り越えたこと 15. その他（具体的に： ） 16. わからない、答えられない	・国調査（問23） ※設問NO.49（会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験の有無）で選択肢1, 2を選んだ方のみへの設問 ・困難事例やその改善事例の実態を把握し、今後の施策の検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	
	51	問26-3 問26-4	社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思うか（いくつでも）	・日常生活の実態把握（困難に直面した経験の実態把握）	1. 相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある 2. 相手が同世代である 3. 相手が同性である 4. 匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる 5. 電話で相談できる 6. SNSやメールなどで相談できる 7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる 8. 相談できる場所が自宅から近い 9. 相手が自宅に来てくれる 10. 無料で相談できる 11. 相手先が公的な支援機関である 12. 相手先が民間の支援団体（NPOなど）である 13. 相手が医師である 14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である 15. その他（具体的に： ） 16. 誰にも相談したくない	・国調査（問24） ・困難事例やその改善事例の実態を把握し、今後の施策の検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	5
	52	問26-5	相談したくないと思う理由（いくつでも）	・日常生活の実態把握（困難に直面した経験の実態把握）	1. 相談しても解決できないと思うから 2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから 3. 誰にも知られたくないことだから 4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから 5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから 6. 相手がどんな人かわからないから 7. 何を聞かれるか不安に思うから 8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから 9. 相手のうまく伝えられないから 10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから 11. お金がかかると思うから 12. その他（具体的に： ） 13. 特に理由はない、わからない	・国調査（問25） ※前設問で選択肢16（誰にも相談したくない）を選んだ方のみへの設問 ・困難事例やその改善事例の実態を把握し、今後の施策の検討材料とするほか、国調査と同内容とすることで市との比較材料とする	16

カテゴリ	NO.	前回問番号	設問内容	設問のねらい	選択肢	備考	前回調査 回答数
相談・支援	53	問20	悩みや聞いてほしいことがあったときに相談できる機関等の認知状況（いくつでも）	・認知度、利用状況把握	1. 子ども・若者総合支援事業（ここあ） 2. 調布センターたけのこ 3. 児童館・CAPS 4. 青少年の居場所Kiitos 5. 教育相談所 6. 教育支援コーディネーター・スクールソーシャルワーカー 7. スクールカウンセラー 8. こころの健康支援センター 9. 子ども家庭支援センターすこやか 10. 子ども発達センター 11. ちょうふ若者サポートステーション 12. 地域福祉コーディネーター 13. 調布心身障害児・者親の会 14. 若者の再出発を支えるネット 15. 民生児童委員 16. どれも知らない	・国調査（問26） ・相談機関等の認知状況、利用状況の把握、周知等の検討	542
	54	問26-7	これらの機関を利用したことがあるか	・認知度、利用状況把握	1. ある 2. ない	・国調査（問27） ・相談機関等の認知状況、利用状況の把握、周知等の検討	
	55		進学や就職のタイミングで、今までの相談先の支援が途切れて、不安に感じた経験があるか	・今後の施策検討に活用	1. はい 2. いいえ	※設問NO.54で選択肢1を選んだ方のみへの設問 ・制度の狭間での実態を把握し、今後の施策検討に活用	
地域への参画	56		地域の行事やボランティア活動などに参加したいと思うか	・今後の施策検討に活用	1. ぜひ参加したい 2. 機会があれば参加したい 3. 参加したいと思わない 4. わからない、どちらともいえない	・青少年の地域への関心度を把握し、今後の施策、計画策定の際の検討材料とする	
	57		参加したくないと思う理由（いくつでも）	・今後の施策検討に活用	1. 興味・関心がない 2. 地域でどんなことが行われているかわからない 3. 学業や仕事で忙しい 4. 家族や親族の介護、看護などで忙しい 5. 趣味など自分の好きなことを優先したい 6. 地域で人づきあいをすることが不安に思う 7. その他（具体的に： ）	※設問NO.56で選択肢3（参加したいと思わない）を選んだ方のみへの設問 ・青少年の地域への関心度を把握し、今後の施策、計画策定の際の検討材料とする	
結婚観、子育てに関するイメージ	58		結婚したいと思うか	結婚や子育てへの希望の把握	1. したい 2. したくない 3. まだわからない 4. 既婚である	・計画策定の際の検討材料とする	
	59		何歳くらいで結婚したいか		1. 20歳未満 2. 20-25歳未満 3. 25-30歳未満 4. 30-35歳未満 5. 35-40歳未満 6. 40-45歳未満 7. 45-50歳未満 8. 50歳以上 9. まだわからない	※設問NO.58で選択肢1（したい）を選んだ方のみへの設問 ・計画策定の際の検討材料とする	
	60		理想とする子どもの人数は		1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上 6. 子どもを望まない 7. わからない	※設問NO.58で選択肢1（したい）を選んだ方のみへの設問 ・計画策定の際の検討材料とする	
	61		自分が何歳くらいの時に第1子を望むか		20歳以下、20-25歳未満、25-30歳未満、30-35歳未満、35-40歳未満、40-45歳未満、45-50歳未満、50歳以上	※設問NO.58で選択肢1（したい）を選んだ方のみへの設問 ・計画策定の際の検討材料とする	
その他	62		現在、悩みごと、困っていることはあるか	・今後の施策検討に活用	フリー入力	・今後の施策検討に活用	
	63	問27	調布市が特に取り組むべきこと（いくつでも）	・今後の施策検討に活用	1. 気軽に悩みなどを相談できる場所や機会の充実 2. 就労（仕事につくこと）に向けた相談やサポート体制の充実 3. 若者たちが自主的に活動できる場所や機会の充実 4. 年齢や経済的な心配をすることなく、学習・学び直しができる環境・機会の充実 5. ニート、ひきこもり、不登校の子ども・若者の支援の充実 6. 障害のある子ども・若者の支援の充実 7. 児童虐待防止に向けた取組の強化 8. 不健全図書類やインターネット上の有害環境から青少年を守る取組の充実 9. 地域における見守りなど非行防止対策の充実 10. その他（ ） 11. 特にない	・今後の施策検討に活用	77